

[抄録様式]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 20 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：「歯の健康と医療費に関する実態調査」</p>
<p>2. 申請者名：(社) 香川県歯科医師会 代表者氏名：会長 山下喜世弘</p>
<p>3. 実施組織：(社) 香川県歯科医師会 共同研究 監修：香川大学教授 真鍋 芳樹 香川県国民健康保険団体連合会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>平成 20～24 年度を期間として、目標を設定し将来的な医療費の伸びの抑制を図るため、都道府県単位の医療費適正化計画が策定されたところである。</p> <p>そこで残存歯数及び歯周病の程度と医療費（医科、歯科、調剤）の観点から、歯の健康が全身の健康とどのように関連しているかを分析することにより、より効果的な歯科予防活動を展開する基礎資料を継続的に作成することを目的として行った。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>(1) 40 歳以上の国保および後期高齢者医療加入者のうち、平成 20 年 5 月に歯科受診患者の残存歯数及び歯周病の程度に関する情報の得られたレセプト該当者について、歯科受診前 1 年間（平成 19 年 5 月、8 月、11 月、平成 20 年 2 月診療分のレセプト）の受診頻度を加味した 1 人あたり医療費（医科、歯科、調剤）について歯の健康と医療費の関連性を、以下の視点で調査・分析した。</p> <p>(A) 平成 20 年 5 月歯科受診者の残存歯数及び歯周病の程度の状況</p> <p>(B) 平成 19 年 5 月、8 月、11 月、平成 20 年 2 月診療分のレセプトを入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前 1 年間の医科・歯科・調剤の日数・診療費及び 19 分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患をはじめとする主要疾病等生活習慣病の日数・診療費と残存歯数・歯周病の程度との関連</p> <p>(2) 平成 17 年 2 月に歯科を受診した 65 歳以上の国保加入者のうち、患者の残存歯数及び歯周病の程度に関する情報の得られたレセプト該当者について、歯科受診後 2 年目（平成 18 年 5 月、8 月、11 月、平成 19 年 2 月診療分のレセプト）と歯科受診後 3 年目（平成 19 年 5 月、8 月、11 月、平成 20 年 2 月診療分のレセプト）の受診頻度を加味した 1 人あたり医療費（医科、歯科、調剤）について 19 分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患をはじめとする主要疾病等生活習慣病の日数・診療費と残存歯数・歯周病の程度との関連性を調査・分析した。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>今回は、平成 20 年 5 月に 40 歳以上の歯科受診患者についてその前 1 年間の受療頻度を加味した 1 人あたりの医療費について分析することができた。また、平成 17 年 2 月に歯科を受診した者について、歯科受診後 2 年目と 3 年目の医療費の推移について分析することができた。</p> <p>（今後の課題）</p> <p>40 歳以上の国保加入者及び後期高齢者について、1 人あたり医療費の推移・変動を継続的に調査、分析する。</p>